



祝150周年

やさしさと 思いやりで

笑顔がいっぱい！



つながれ かがやけ 山里小

学力調査結果について

長崎市の小学校は、次の学年が学力調査を受けることになっています。今年度は4月に実施されました。

3年生	全国標準学力調査	国語・算数
4年生	全国標準学力調査	国語・算数
5年生	長崎県学力調査	国語・算数
6年生	全国学力学習状況調査	国語・算数
	長崎県学力調査	理科

個人の結果については、3～5年生は夏休みの面談時に、6年生は先週お渡ししたところです。

全体としての結果は極めて良好です。

全国平均（県学力調査は県平均）との比較で見ると、全ての学年、全ての教科で、平均を確実に上回っています。本校はこれまでも毎年平均を上回る結果を出し続けており、山里小の特色の一つとなっています。

では、学力が高い要因はどこにあるか。ひとえに学力といっても、それを支えるいくつかの要素があります。一番は普段の授業の充実になりますが、それだけではありません。日々の家庭学習、塾や習い事等での学び、それに加えて、あはは運動にもある「あいさつ」「履物そろえ」「早寝、早起き、朝ごはん」等の基本的な生活習慣、こうしたものが、学力を支える基盤となります。

6年生の「全国学力学習状況調査」において質問紙調査というものがあります。児童一

人ひとりが60を超える質問に答えるものですが、この結果から、本校の学力が高い要因が少なからず見えてきます。

例えば、「1日当たりの勉強の時間」、「毎日朝食を食べているか」、「決められた時刻の就寝、起床」、「新聞を読んでいるか」、「週末の学習塾、習い事の割合」、「テレビゲームをする時間」、「SNSや動画視聴の時間」などは、全国平均よりかなり良好なデータが出ています。（もちろんゲームやSNSは少ない時間の方です。）

こうしたデータ結果は、本校の「家庭の教育力」の高さをしっかりと示しています。本校の大きな強みです。

また、「学校に行くのは楽しいと思いますか。」「自分には、よいところがあると思いますか。」「先生は、あなたのよいところを認めてくれますか。」こうした項目も全国平均に比べ、かなり良好な数値が出ています。学校での満足度や自己肯定感、自己有用感にかかわる部分です。これらも学力向上、学力定着に関わりがありそうです。「ほめること」「認めること」は、教職員一同、これからもしっかり心がけ、取り組んでいきます。

もちろん、課題がないわけではありませんが、課題は課題としてしっかり踏まえつつ、10年後、20年後、社会で生きていくための学力とは何かを常に考えながら、授業改善等、子どもたちの教育に全力を注ぎます。

今後とも、家庭と学校が子どもたちを真ん中に置き、しっかりと連携し、広い意味での学力向上に取り組んでいければと思います。